

【1】 タイトル

気管支喘息及び慢性閉塞性肺疾患への吸入療法に影響を及ぼす因子に関する後方視的解析

著者名 角和珠妃

共著者名 飯倉元保

共著者名 平嶋純子

共著者名 鈴木学

共著者名 泉信有

共著者名 杉山温人

所属機関名 国立国際医療研究センター 呼吸器内科

【2】要旨

閉塞性肺疾患患者に対する院外薬剤師の吸入指導における吸入手技の習熟度と患者背景の相関、指導日から初回増悪までの期間を後方視的に検討した。吸入習熟度と患者背景の相関は喫煙指数で中等度に、70歳以上、併存疾患数、総デバイス数で低く認めた。群間比較は男性、COPD、Karnofsky PSが70点以下の群で習熟度が低かった。初回増悪までの期間へ各背景因子を検定すると、女性($p=0.01$)、喫煙指数が450以下($p=0.04$)で有意に短かった。手技の習熟は必ずしも増悪エピソードへ寄与しなかった。

【2】 キーワード・短縮タイトル

キーワード:閉塞性疾患 院外薬剤師 吸入指導 吸入デバイス

Obstructive pulmonary disease, out-of-hospital pharmacists,
inhaler maneuver, inhalation device

短縮タイトル:閉塞性肺疾患への吸入療法に影響する背景因子と予後